

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和 3 年度病害虫発生予察注意報第 2 号を発表したので送付します。

令 和 3 年 度 病 害 虫 発 生 予 察 注 意 報 第 2 号

- 1 作物名 さとうきび
- 2 害虫名 アワヨトウ
- 3 発生地域 大東諸島（南大東村、北大東村）

4 注意報発令の根拠

北大東島村及び南大東村における 5 月の株出しほ場での発生調査の結果(令和 3 年 5 月中旬実施)、被害茎率は 82.5% (北大東村)、36.9% (南大東村)、食害度は 51% (北大東村)であった(表、図 1、2)。北大東島村及び南大東村におけるサトウキビ生育状況は、株出後 1 ヶ月程度の萌芽茎のため、今後もアワヨトウによる加害が連続すると大幅な生育遅延が想定される。

表 北大東村、南大東村、沖縄本島におけるアワヨトウ発生調査

地 区	作 型	調査茎数	被害茎数	被害茎率 (%)	食害度*
北大東村	株出し	2,000	1,650	82.5%	51%
南大東村	株出し	2,000	738	36.9%	—
沖縄本島	株出し	48,000	0	0%	0%

調査方法：さとうきびメイチュウ類被害茎率調査（令和 3 年度沖縄県病害虫発生予察調査基準）に準じた。

※食害度は葉の食害面積

5 発生生態および被害

- (1) 県内における年間の発生世代数は明らかではないが、突発的に大発生する傾向がある。
- (2) 卵は卵塊で葉鞘の内部や葉の基部に産み付けられ、若齢幼虫の体色は淡い黄緑色であるが、老齢幼虫では灰白色、黒緑色等になる(図 3、4)。
- (3) 食害痕はバッタ類の被害に酷似するが、食害痕があるにもかかわらず、ほ場内にバッタ類が見当たらない場合は未展開葉部または株元に幼虫が居ないか確認する(図 5)。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 発生源となるほ場および周辺のイネ科雑草の除去を徹底する。
- (2) 被害の多い地域では薬剤による一斉防除を行う。メイチュウ類等との同時防除が有効である。



図1 北大東島アワヨトウ発生ほ場



図2 食害度調査



図5 株出ほ場内枯葉下の老齢幼虫



図3 若齢幼虫



図4 老齢幼虫

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0980-82-4933
ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>